

**様式 1****令和 8 年度（運動・文化）部活動の方針****課外活動の方針**

学校コード： 5 7 2 1 学校名： 諏訪市立 諏訪西中学校

**目標**

- 自立 それぞれの目標に向かう、生徒の自主的、自発的な教育活動として行う。
- 礼節 仲間を尊重し、協力することを通して、豊かな人間性の育成を図る。
- 完遂 目標までの活動の成果を確認し、達成感、成就感を得られるようにする。
- 共成 同じ目的や目標を共有するメンバー同士のつながりを大切にし、共に育つ。

**本校の運営方針**

- 活動時間、休養日の設定、朝の活動について
  - ・平日の活動時間は午後の 2 時間以内とし、朝の活動は通年実施しない。
  - ・原則、水曜日の放課後は活動を行わない。
  - ・テスト 1 週間前から活動を行わない。
  - ・生徒の健康面への配慮として、平日は少なくとも 1 日を休息日として設定する。
  - ・土日の活動については、どちらか 1 日は休養日とし、活動時間は 3 時間を基本とする。  
大会間近で両日とも活動した場合は、さらに 1 日の休息日を他の週に設けるようにし、週末の活動が常態化しないようにする。
- 活動計画の策定
  - ・年間計画および月の活動計画を作成し、部員、保護者に活動予定を分かりやすく伝える。
  - ・年間計画に各部ごと部活動リフレッシュウイーク（2 週間程度）を設置する。
- 長期休業中の活動方針
  - ・長期休業中の活動日は、原則として休日、学校閉庁日を除く日に行い、休日総数の半数を超えない回数とする。また、活動時間は 3 時間とし、昼をまたがない。
  - ・平日の活動を原則とし、家庭、地域で子どもを育てるという長期休業の良さを生かす。
- 他校との練習試合、大会等への参加、
  - ・参加する練習試合、大会・コンクールについては、その時期や間隔に留意し、生徒の健康面や家庭学習、家族との生活等も大切にできるようにする。
- 部活動運営に係る協議の場の設営
  - ・部活動運営委員会、部活動保護者会により、運営の見直しや改善を図っていく。

**学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた取組**

## 指導体制の工夫

- 各部活に顧問、練習場所ごとのエリア顧問を配置し、日常練習の際の生徒の安全面の管理徹底、交代制による教職員の負担軽減を図る。
- 女子生徒が所属する部活にはできる限り女性職員を配置するなど、相談しやすい環境作りをし、生徒の悩みや活動上の課題の解決に対応できるようにする。
- 部活動指導員・外部コーチの活用・休日の地域展開
  - ・部活動指導員（サッカー）や外部コーチ（バスケットボール、バレーボール）を活用し、専門性の高い指導を行っていただく。また、教職員の働き方改革や「部活動の段階的な地域展開」につなげていくために、引き続き地域の指導者とも連携し、部活動指導を行っていただく。
  - ・卓球、野球について、休日の活動については、地域に移行。

## その他

- ・保護者の経済的負担の軽減についても留意する。
- ・保護者会での説明や詳細な家庭通知を通して、部活動への理解と協力を得るようにする。